

前芝中学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「平和」「防災」「伝統文化」を活動テーマとしている。ESDの実践を通して「かかわる力」「コミュニケーション力」の育成を目標とする。

・活動の実際

① 平和にかかわる活動（1年生）

- ・平和学習（8月）

本校の正門の横に高さ2mほどの石碑がある。昭和20年8月7日の豊川海軍工廠への爆撃で犠牲となった前芝国民学校の生徒10名の慰霊碑である。しかし、何の碑であるか理解している生徒はほとんどいなかった。

そこで、平和教育のプログラムを作成し、この石碑に注目させながら、「戦争と平和」についての学習を展開することにした。また、毎年の夏休みの全校出校日には、ユネスコ協会から講師をお招きし、空襲時の体験を聴く会を開いており、「自分の体のすぐ横を銃弾が走っていった」「避難していたところとは違う防空壕の入口が大爆発した」等、具体的な話を数多く聴くことができ、平和の大切さ、戦争の悲惨さなどを学ぶ貴重な学習となっている。



② 防災にかかわる活動（全校生徒）

- ・防災訓練(応急救護所)（9月）

本校は、津波災害危険区域に位置しており、毎年校区と合同で防災訓練を行ってきた。新型コロナウイルス感染症などの影響で5年間実施できていないものの、小中合同の下校訓練や津波を想定した避難訓練として垂直避難と水平避難を隔年で実施している。また、本校は応急救護所に指定されているので、本年度は、災害時に応急救護所の運営にかかわる地域住民としての意識を高めることを目的として、健康政策課による出前講座を実施した。応急救護所の役割を知り、自分たちの学校にけがをした人たちがたくさん集まってくることを知り、自分たちの役割の重要性に気づくことができた。さらに、身近なものでできる応急手当の方法も学び、実践力も高めることができた。



③ 伝統文化にかかわる活動（全校生徒・地域）

- ・前芝神明社祭礼ボランティア（10月）

地域の行事を盛り上げるために、前芝神明社の祭礼に、園児たちの「子どもみこし」の付き添いや「渡御行列」のごみ拾いのボランティアとして参加した。

「やりがいを感じた」「町のためになってよかった」「大事だと思った」といった生徒たちの感想から、人のために働くことのすばらしさを体験できたと思われる。

